

事業計画

人財育成委員会
委員長 市川雄大
副委員長 又吉麻菜美

事業方針

人財育成委員会では、2022 年度運営方針に基づき、継続した事業を地域団体と連携をはかり、協同し、つながりを持ちながら組織としても個々人としても幅を広げ、質の向上につながるよう邁進して参ります。

なぜなら、桶川 JC には、バイタリティ溢れ、地域を自分たちの力で活性化しより良くしたい、また JC だからこそ地域に貢献できるという強い想いを持ったメンバーが多く在籍するため、JC メンバー間の連携を増やしながらも、JC 以外の周りの人たちとつながっていくことで、各々の力をより強化し、組織、個々人の成長に繋がっていくと共に、地域全体でまちづくりができる考えるからです。そして、桶川 JC のみならず、地域の人たちも含めた人材育成も考えます。

JC 歴が浅いメンバーが多いため、ルールが分からず、どう動いて良いか分からないメンバーがいるため、JC のあるべき姿やルール理解をすることが急務です。それらを理解した上で、今の環境に合った、かつメンバーが主体的に動く環境づくり(ルール改定)も必要と考えます。その結果、自分たちで作り上げる組織という意識が芽生え、JC の歴史を知り、より積極的な活動に繋がっていくと考えます。

また昨年度、5 月例会「流しそうめん！？祭り」では、桶川 JC 主催でスポーツ振興課が共催し、10 月例会「オンラインサロン」では、講師の方々を招き、11 月例会では、スポーツ振興課主催の「おけがわスポーツフェスティバル」に共催として桶川 JC が参加し、実施して、他団体とつながり、一緒に創りあげるきっかけ作りができました。

ですが、これはまだまだ序章にすぎません。今までの事業のほとんどが単発で終了した現実を受け止め、2022 年度は「継続した事業」という運営方針のもと、昨年度の実施した例会のいくつかを継続し、さらに発展させた内容を加えた事業実施をすることが人材育成委員会としての存在意義と考えます。

そのため、人財育成委員会では、以下の取り組みをしていきます。
まずは、JC について理解し、ルールを認識した上で、環境に合ったルール改定の見直しもすることで、メンバーの主体性を向上し、JC 活動を促進させていきます。

また、桶川 JC が主体となり、地域団体と連携し発展させた継続事業を行うことで、JC メンバー、地域団体の方々の成長に繋げ、人材育成という目的達成に繋げさせていただきます。

事業計画

1. JC の理解を深めるための定款やルールの勉強会の開催
2. 地域連携し、発展させた協同継続事業の開催
3. JC メンバー同志の協同、連携を用いた事業の開催